

2018

7

July

No. 29

よつば

いろどりも、よろこびも
こころも豊かに

大地育み、幸せつなぐ



JA会津よつば

<http://aizuyotuba.jp>

特集 1

盛夏、来りて 咲き誇る、花

太陽が力を発揮する季節は、
太陽の恩恵をいっぱいを受けた
花たちの季節だ
咲き誇る花たちは、見る人に
幸せや元気を届けてくれる

よつば
7月号
目次

03 ... 特集 1
花
盛夏、来りて 咲き誇る、花

08 ... 特集 2
会津の農業を守る **総代会**

12 ... **トピックス**
こんな活動も！
がんばる！農青連盟友

20 ... **コメンタル画伯が行く！**
柳津支店・営農経済センター編

JA自己改革
21 ... 田島支店にはこんな工夫が！

22 ... YOTUBA AGRI COLLEGE
よつば農業大学
8限目：「新しくできた平成31年度用
水稲用の肥料と農薬」

24 ... 暮らしの味方
夏バテ対策で暑い夏を乗り切ろう！
坂下厚生総合病院

25 ... コンプライアンス対策部より
お知らせ

26 ... みんなの広場
クロスワード
理事会だより



今回は夏の花特集ですぞ～！
かわいくてげんきをもたらえる
お花を紹介しますぞ～！

今月も
このコメンタル画伯→
を探してね！



広報誌6月号のわしは
ここにいましたぞ！
13ページ
トピックス4段目

よつば 会津よつば 検索



JAグループ

会津よつば農業協同組合
〒965-0025 福島県会津若松市扇町35番地1

耕そう、大地と地域の未来。 編集/組織広報課 Tel.0242-37-2222(代)



ふたりは歩む、この道を

喜多方市でトルコギキョウの栽培を行う小田切要吉さん、多喜子さん夫妻。トルコギキョウを栽培して今年で20年目のベテラン農家だ。

小田切さん夫妻はいいで花き部会の部会員で25アールのほ場で栽培しており、要吉さんと多喜子さんの主に二人で管理をしている。要吉さんは花の基盤となるほ場の作成で、多喜子さんが主に花の生育管理を行っている。作業のときは二人で助け合いながら行っていると話す。

小田切さん夫妻は以前、アスパラガスやキクなど様々な種類の栽培も行っていた。その経験をトルコギキョウにも生かすことで、平成20年には小田切さん夫妻のトルコギキョウが農林水産大臣賞を受賞した。そのときに

受賞した花の色が、多喜子さんが好きなアプリコットという色だ。

花を作るうえで

小田切さん夫妻は「花を育てるときは『水管理・肥料管理・土壌分析』この三つが大切だ。また、花の天敵は細菌だ」と説明する。細菌などがほ場に入ってしまうとすべての花が咲かなくなり、次の年に栽培するときも咲かなくなるため、土を総入れ替えしなければならなくなる。このことを防ぐため、こまめにほ場をチェックすることが大切だと要吉さん。またJAの花卉現地指導会や、講習会などにはできるかぎり参加し、常に学習していると多喜子さんは話す。常に学んでいくことで質の高いトルコギキョウができるのだ。

喜多方市 | いいで地区花き生産部会

おだぎり 小田切 さん
たきこ 多喜子 さん
ようきち 要吉 さん

こだわり

最近、トルコギキョウは、様々な場所で活躍している。結婚式や葬祭はもちろん、テレビ番組やイベント会場などにも飾られていることが多い。

とで、流行に合った品種選びに力を入れている。様々な研究や努力の上に成り立っているのが、小田切さん夫妻のトルコギキョウだ。

「花もファッションと一緒に、流行があるんだよ」と話す多喜子さん。「昔は、東京まで行ってファッションショーを見に行っていた。そこで流行の色を勉強していたんだ」と、懐かしそうに語るお二人。「品種選びを流行のものにしたい。だから私たちは、白とピンク、青の主流なものに加え、アプリコットやグリーンなど、新しい品種を作るように心がけている」と力強く話す多喜子さん。今のファッションカラーをチェックすることや市場関係者、花き部会員の話を聞くこ

小田切さん夫妻は「トルコギキョウの栽培は大変だ。ハウスの温度調節から何から、しっかりと管理しないと育たないんだ。だからこそ私たちは毎年、一番最初に咲いた花を感謝の気持ちを含めて、写真に収めているんだ」と語る。その顔つきは、これから先のことも見つめるような、希望に満ち溢れた、そんな表情だった。「どんな人が見ても立派だと思える、そんなトルコギキョウを作っていきたい」と二人は語る。その思いがある限り、ふたりの花道はこれからも続いていく。



1. 華やかに咲き誇るトルコギキョウ。花言葉は「優美」「感謝」「すがすがしい美しさ」。色によって花言葉も違い、アプリコットは「毅然とした態度」。華やかな美しさの中に、キリッとした上品さを感じる花だ。2. 花き品評会で農林水産大臣賞を受賞した時の賞状。3. 多喜子さんも要吉さんも、いつも笑顔が絶えない。



雄国山麓と飯豊連峰に囲まれた、開けた農地の真ん中に、黄色い花が夏らしく咲き誇る。喜多方市の中里地区。田中貴子さんと正さん夫妻は、ここでヒペリカムを10アール、二人三脚で栽培している。



1. 実が色づき始めたヒペリカム。自然の恵みと愛情をたっぷりうけて色づいていく。2. 貴子さんの畑には、春夏秋冬の花々が植えられている。道行く人が足を止め、会話にも花が咲くんだとか。3. 一面の黄色。花言葉の「きらめき」は、この輝くような花姿にちなむといわれている。

花は、心も豊かにしてくれる

お二人は花を通じた人とのつながりも大切だと話します。「高齢化で、ヒペリカムを作っているのは、この地区ではもう2軒だけになってしまった。ぜひ、一緒に作ってくれる仲間がほしいですね」と貴子さん。栽培をやってみたいと思う

花を通して

い」と話す田中さん夫妻。手間がかからないことが魅力の一つだ。もう一つの魅力は出荷時期。実ものは秋に出荷するものが多いが、ヒペリカムの出荷時期は7月。市場からは、花と一緒に実ものがあると喜ばれる。それに、稲作を主としていても、出荷時期が被らない。そのため田中さん夫妻も、夏はヒペリカム、秋は稲作、稲作が終わってからはユーカリと出荷サイクルが組める。

正さんも貴子さんも、花が大好きで、だからこの仕事は合っていると笑う。「元気で長生きして、花を作ったり、楽しんだり、幸せだっただけで感じながら続けていきたいです」と笑顔を見せる。ヒペリカムの花言葉は「きらめき」「悲しみは続かない」。花言葉のように、二人の花栽培は、これからも幸せときらめきにあふれていくだろう。

喜多方市 | いいで地区花き生産部会

たなか 田中
たかこ 貴子
ただし 正
さん さん

『ヒペリカム』という花

「ちょうど今が花盛りで、7月に入ってからだんだんと実が赤く色づいていくんですよ」と愛おしそうに話すのは田中貴子さん。ヒペリカムは黄色い花を咲かせた後、花が落ちて実が色づいたものを出荷する。品種は何百種類とあり、実の色が真紅になるものや、チョコレートト色になるものもある。そのなかでも田中家では「ピンキーフレアー」という、実が薄紅に色づくヒペリカムを栽培している。「きつかけは、今から約16年前。市場から、これから実ものの人気があるとの後押しがあつて、地域の人が10人くらいのグループで作ってみようとなったんです」そう懐かしそうに話す田中さん夫妻。当時、何種類もの品種の中から田中家に届

いた苗が、「スカーレットフレアー」と今も栽培している「ピンキーフレアー」の2種類だった。それから田中家のヒペリカムは、今まで同じ株を使って栽培している。収穫は貴子さん、出荷作業は夫の正さん、そして栽培管理は2人で行う。「一回定植して、管理作業をきちんとすれば何十年も植え替え無しです」と栽培していくことができる」と正さんは話す。ヒペリカムは、7月いっぱいまで出荷が続いた後、株に実や枝を残したまま冬を越す。春に残った枝を10センチほど残して刈り取り、そこから芽吹いた新芽の管理をしていく。栽培で気を付けることは虫と病気の防除だ。鳥獣害の被害も少なく、露地で栽培できるので施設も必要ない。「管理そのものは難しくなく、高齢者でも管理がしやすい

集落座談会の主な意見・要望について

このページの写真は総代会時のものです。

お忙しい中ご出席いただき
ありがとうございました！



議案の説明をする
五十嵐孝夫専務

A

主食米を中心とした需要に応じた米（業務用米）の販売取り組みを強化するとともに、特に、県オリジナル品種（天のつづ、里山のつづ）の低コスト栽培技術の普及啓蒙・実践により、更なる農家手取りの最大化の実現に努めてまいります。

Q

米の直接支払交付金がなくなり、農業所得10%アップ運動の実現は難しく農協としては何か対策を考えているのか。福島県産の新規需要米の出荷量が全国上位とのことだが、会津米は主食用米として販売に取組み強化されたい。

A

平成30年からの新たな米政策においては、行政による生産数量目標の配分に頼らずとも、国が策定する需給見通し等を踏まえつつ、生産者や集荷業者・団体が中心となって円滑に需要に応じた生産が行える状況になるよう、行政・生産者団体・現場が一体となって取り組むこととしています。また、米の直接支払交付金も29年産をもって廃止になり、新たな米政策においては「作付の目安」に対する国及び県による直接の「メリット」の連動はなくなりましたが、現在の米価を維持するためには生産者自らが需要に応じた米作りを求められることからご理解とご協力をお願いいたします。

Q

生産調整をしている人、していない人がいる。生産調整に協力している人に町・JAの組織の中でメリット措置はないのか。小さいメリットでも良いので要望します。

A

農地中間管理機構や農地利用集積円滑化事業を活用したなかで担い手への農地集積・集約化を図りながら、遊休農地の解消に努めてまいります。また、受け皿となる担い手がいない地区等においては、関係市町村及び土地改良区等と連携を図りながら対策を講じてまいります。

Q

遊休農地の活用は、どのように考えているのか。JAが大きくなり過ぎ、身近な農業問題（放作地、高齢化等）対応に危機感を感じる。



特別決議では、職員が
人数を数えて報告しました

A

ご意見のとおり、場所別・施設別収支管理の徹底による減損会計の回避と要員・人員配置の見直し、さらには組織機構の見直し等の取り組みにより対処してまいります。

Q

減損会計の対象となっている施設等について、今後どのように対処していくのか。更なる統廃合も必要ではないか。人件費の削減、適正配置等検討すべきだ。



採決



受付

湯川村の農業法人設立について

A

農業振興は、JAはもちろんですが、行政と一体となって地域の中の農地を守っていく事が重要です。今後、会津の各市町村でもこの様な動きが出てくると思いますが、ケースバイケースでJAの立場と行政の立場に沿いながら進めていきたいと考えますので、よろしく願います。（長谷川専務）

Q

農業後継者の育成確保については様々な取組みが行われていますが、思うように成果が上がらないのが現状です。この状況はこの市町村でも同じであると思います。是非ともJAのリーダーシップと技術をもって影響力を大きく発揮し、大成功となるよう導いていただきたいと思えます。JAとしての農業政策についてお聞かせ願いたい。（小沢さん）

A

小沢総代と同意見です。南会津町でも水稻の新規就農は設備投資が大きく進まない状況です。南会津町でも湯川村に引き続き法人を設立していただきたい。（湯田さん）

Q

信用事業においては、営農経済部門と連携をしながら担い手への融資などを一丸となって取組んでおり、JAとして部門毎に分かれるのではなく、一緒に進んで農業振興に取組みたい。（渡辺専務）



渡辺善栄専務



長谷川一雄組合長

小沢総代、湯田総代より建設的なご意見を頂戴しました。17市町村長と会津、更にはその地域の農業振興をどうするのかが、打合せをしながら進めていきたいと思えます。（長谷川組合長）



質問者
湯田孝義さん
（田島地区総代）



長谷川正市専務



質問者
小沢甲市さん
（湯川地区総代）

会津の農地を守りたい！

意見

営利目的ではなく、地域農業をどう守っていくかと言う事で、本来ならJA独自でやらなければならぬ事を、湯川村と一緒に展開していく事はありがたい事だと思えます。自分たちの農地を守ってもらえる出資型法人を、会津平たんのモデルとして成功させていたいただきたいと思えます。（歌川さん）

A

湯川村で行っているふるさと納税は農家支援を目的としており、その収益は一般財源とはせず、農業振興基金に積み立て農業振興に使う事を目的としていました。その資金が1億5千万円貯まり住民アンケートを実施した結果、農業法人を作りたいとの要望があり、行政・普及所と一緒に平成28年9月に検討委員会を立ち上げました。（長谷川専務）

Q

各行政もJAが出資する法人に関して今後検討に入ると思いますが、今回の様な形となった理由について伺いたい。（阿部さん）



長谷川正市専務



歌川 信也さん
（坂下地区総代）



質問者
阿部 通利さん
（三島地区総代）



▲泥だらけになりながらも一生懸命田植えしました

J Aは6月2日、J A全農福島が主催をする、Amazonの田植えツアーを受け入れ、喜多方市の水田で手植え体験を行いました。

同ツアーは、Amazonで販売する福島県産の米を購入した消費者に抽選で、会津地方への田植え体験ツアーが、福島県産銘柄豚の麓山高原豚が当たるものです。今年で2回目で、当選した39名が福島県を訪れました。

田植えは地元有機農業研究会「緑と太陽の会」が指導しました。会長の原源一さんは「田植えの1回きりではなく、稲刈りの時期にも見に来てほしい」と呼びかけました。

千葉県からの参加者は「子どもを連れて家族4人で参加した。田植えは初めてだったが、テンポ良くできた」と笑顔をみせていました。

Amazonツアー受け入れ 首都圏から田植え体験



▲初選果となったトマト
永井野選果場

6月20日、永井野選果場は稼働式を開きました。

12月下旬まで6品目の農産物集出荷に対応し、20日からトマトの選果が始まりました。初日には、5名の生産者のトマトが持ち込まれ、60ケースが京浜市場へ出荷となりました。このほかにも永井野選果場では、梅や柿などの果実を選果します。

長谷川正市専務は「健康に留意して作業にあたってほしい」とあいさつしました。みどり地区トマト部会部会長の太田憲さんは「トマトの値段が回復してきたので、出荷する人も意欲がわいてくると思う。これからたくさん出荷していきたい」と話しました。

今年度の全体の選果量は1361.5トンを目指しています。

選果された野菜など全国へ



▲初選果となったトマト

あいづ西部選果場は6月20日、トマト選果場を稼働しました。初日には約97コンテナが持ち込まれ、220ケースが市場へ出荷されました。

同日あいづトマト生産部会は目揃い会を行い、30名が参加しました。部会長の太田善浩さんは「いいものをたくさん作って、会津のトマトを広めるため、今年もがんばっていきましょう」と呼びかけました。

同選果場は2年前から、いい地区からの利用も受け入れていきます。今年度の他地区の利用者は14件に増加し、同選果場の出荷量も他地区利用前と比べると約1.5倍に増加しました。

選果場は11月中旬まで稼働予定。今年度の販売額1億円を目指します。

あいづ西部選果場



▲アレンジ料理を楽しく調理しました

6月12日、J A会津よつば女性部協議会は、南会津町の御蔵入交流館で「ばあばの伝承料理教室」を開きました。この教室は合併時から続いています。

今年度の第1回目は、女性部員、J Aなど40名が参加し、3月に発売したJ Aオリジナル商品『会津トマト麺』や『南郷トマトジュース』を使ったアレンジ料理、トマト麺入りミネストローネやトマト麺オムレツ、サラダ麺を作りました。

参加した部員からは「麺で、いろいろな食べ方ができておもしろい」「いろいろな野菜と麺を合わせて家でもやってみよう」と好評でした。また、『トマト麺』を製造・販売するメーカーなどを招き試食会を行いました。

次回は8月にみどり地区で開催します。

地元食材の新たな食べ方を ばあばの伝承料理教室



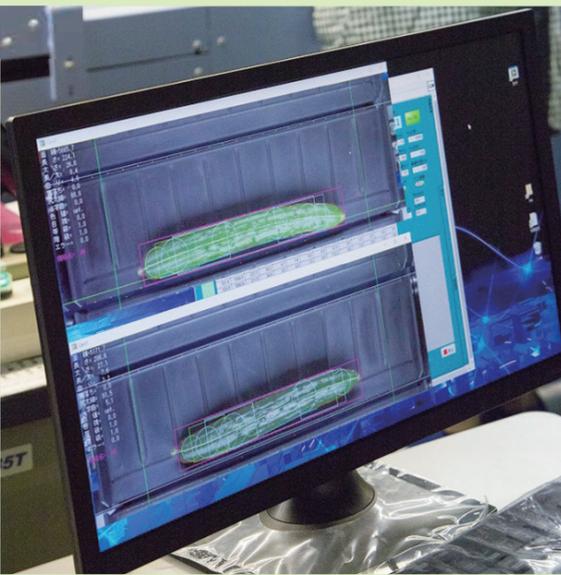
▲鉤入れする長谷川組会長

6月5日、J Aは南会津町にある伊南支店の安全祈願祭を行いました。

伊南支店は支店建物の老朽化に伴い、組合員利用者の利便性向上を目指し新築します。安全祈願祭には、長谷川一雄組合長や常勤・非常勤役員並びに関係者、37名が参列。神職が祝詞を奏上し、長谷川組合長が鉤入れを行いました。

起工式で長谷川組合長は「安全第一に施工し、地域の拠り所となる店舗になることを期待します」とあいさつしました。同支店は10月末の竣工を目指しています。

伊南支店新築へ 安全祈願祭



▲キュウリの映像モニタとキュウリ選果

J Aは6月20日、柳津町のキュウリ選果場で稼働式を開き、全農などの関係者、柳津町や生産者など約60名が参加しました。

今年から新しい選別機を導入し、従来と比べキュウリ選別時の落差を少なくした全国初の排出方法で、キュウリへのダメージ軽減を実現しました。従来はキュウリを落下させていた排出部を、コンベヤを使い送ります。キュウリの品質を左右するイボが取れるのを防ぐ効果も高く、品質センサーではキュウリを画像化し、モニターで確認できるようにしました。選別ラインは2人の生産者のキュウリを同時に選果できるようにになり、切り替えも可能です。

稼働は9月末まで、昨年より29トン多い265トンの選果を行う予定。利用者は36名で、今年と比べ選別機の処理能力が高いことから、今まで利用していなかった生産者にも興味を持ってもらおうと稼働式への参加を呼び掛けました。

柳津選果場

女性部



▲笑顔でミニトマトの苗を受け取る児童達

育てる喜び知って 女性部磐梯支部苗贈呈

5月25日、女性部磐梯支部は、磐梯町立磐梯第一小学校にてミニトマト苗の贈呈式を行いました。同支部は毎年、食育活動として磐梯町の幼稚園と小学校にミニトマトの苗を贈呈しています。

子どもたちに育てる喜び、収穫の楽しさ、食物や食する事に感謝を感じてほしいとの願いを込めています。

児童たちは、六澤絹子支部長からミニトマトの苗の育て方の説明を聞き、「ミニトマトをもらって嬉しい。大切に育てたい」と嬉しそうに話していました。

女性部



▲丹精込めた料理を作りました

料理作りのボランティア 西会津ふれ愛グループ

J Aヘルプふれ愛グループ西会津支部は、6月13日に同町の奥川地区の高齢者に、同グループのメンバー4名がサバのミルク煮や小松菜とニンジン、シメジの「ゴマあえ、ニラ玉汁」などをふるまいました。

会食した参加者は「お呼ばれたよう」や「良いものを食べているので、病院通いはしていられない」と嬉しそうに話していました。

支部代表の齋藤京子さんは「喜んでもらえることがとてもうれしい。今後も続けていきたい」と笑顔でした。

女性部



▲スキンケアについて講演する鶴川さん

肌ケアを学ぶ 女性大学開講

みどり地区女性大学は6月17日、会津坂下町で開講式と第1回講座を開きました。「優しく学ぶお肌ケア」と題し、紫外線を防止する正しい日焼け予防について講義を受けました。

講座では、耐南商事株式会社。パステルの鶴川佳子さんを講師に、日焼け止めの付け方や年齢に合わせた洗顔方法、乾燥対策などを学びました。

みどり地区女性部長の渡部宮子さんは「女性大学は趣味の講座として利用できる。参加者の意見を反映しながら、交流の場を広げたい」とあいさつしました。

2回目の講座は7月にパン作りを予定しています。

女性部



▲白熱した試合になりました

ペタンクで交流

みなみ地区女性部では、南会津町のびわのかけ運動公園にて同地区の女性部員の健康増進と親睦の輪を広げる目的で、6月21日にペタンク大会を行いました。

女性部員32名が参加、1チーム3人で組み、白熱した試合を行いました。またひとつひとつのプレーに歓声や拍手があがり、楽しみながらペタンクを行っていました。

女性部員は、「このペタンク大会を毎年、楽しみにしている」と話しました。

山菜加工品人気 工人まつりに出店



▲山菜や加工品を買い求める人でにぎわいました

三島山菜加工工場は6月9日10日の両日、第32回ふるさと会津工人まつりに出店しました。

同加工工場は毎年出店しており、J Aオリジナル加工品の漬物や乾物などを販売しました。特に山菜は買い求める客が多く、開始から1時間ほどで完売するものもありました。

県内外から訪れた観光客が新鮮な山菜や加工品などを買い求めていました。訪れた観光客は「新鮮な山菜を買えた。朝早く来てよかった」と嬉しそうに話していました。

練習の成果を発揮！ チビッコソフト開催



▲想いを込めた一振り

J Aは6月16日、南会津町びわのかけ運動公園にて、J A会津よつば組合長杯ちびっこ球技大会を開催し、南会津郡内の小学生ソフトボールチーム10チームが参加しました。この大会は、みなみ地区管内の小学生を対象に、毎年開催されています。

熱戦が繰り広げられ、館岩ベアーズスポーツ少年団が優勝を飾りました。スポーツ少年団の指導者からは「みなみ地区だけの大会でなく、全会津大会として開催してほしい」との要望もありました。

優勝 館岩ベアーズスポーツ少年団
準優勝 只見スポーツ少年団
3位 田島スポーツ少年団(男子)
(みなみ地区本部・五十嵐 善也)

見分ける目養う あいづ花卉生産部会



▲八重鑑別のポイントを聞く生産者たち

6月14日、あいづ花卉生産部会はストックの八重鑑別講習会を開きました。研修会には生産者、J Aなど30名が参加しました。近年、一重の花の発生率が高く、出荷販売につながらないことが多かったため、講習会を開きました。商品価値の高い八重の花を見極める方法を確認し、出荷量を増やして農家所得の向上が目的です。

講習会には種苗会社を講師に招き、他産地の実例をもとに栽培のポイントや、見分け方を確認し、実際も苗を使った鑑別も行いました。

楽しい！パークゴルフ大会



6月6日、いいで地区年金友の会は、第13回パークゴルフ大会を、ふれあいランド高郷で開催しました。大会には多くの方が参加し、チームを組んで楽しくプレーをしました。

このスポーツは、誰でも簡単に出来る、健康増進や絆を深めることができると好評です。クラブには現在会員 58 名が在籍しています。是非、パークゴルフクラブで皆さん楽しく交流してみませんか？

- 男子 優勝 菊地 守 準優勝 國分 隆志
女子 優勝 福王寺 多賀子 準優勝 長沼 静江 (敬称略)



バケツ苗で
米作りを学ぼう！

農青連会津坂下支部では6月12日、14日にバケツ苗を使った食育活動を行いました。

1回目は会津坂下町立坂下南小学校で行い、会津坂下農業普及所を講師に招きました。同支部盟友、JA職員、同小学校5年生54名が参加し、2回目には、会津坂下町立坂下東小学校の5年生59名が苗植えを行いました。

苗植えを行っている途中、土の中にいる生き物にも、興味を示していました。植え終わった児童からは「まだ植え足りない！」と声が上がりました。



楽しく交流を♪

農青連会津若松支部は5月24日、職員との交流でボウリング大会を開きました。

農青連盟友、職員合わせて15名が参加。それぞれスコアを競い合いながら交流しました。盟友は「職員とこのような場を通して交流していきたい」と話していました。



米どころ、湯川で田植え指導♪

5月30日、湯川村の大塚孝司さんの水田で、筵川小学校5・6年生29名が田植え体験を行いました。毎年行っており、地元の農青連が指導しています。同じ水田で秋には稲刈りも予定されています。



KARIYASU'2018
イベントで町おこし

只見町の深沢地区では、5月12日に「KARIYASU'2018」が開催されました。合同会社ねっか協力の「18歳の酒プロジェクト」も共同開催され、参加した18歳には、20歳の時に焼酎をプレゼントします。



田植えは2か所のほ場で約80名が参加し行なわれました。バケツドラム演奏に合わせて田植えを楽しみました。

参加者からは「ひとりで作業するより、みんなでやると楽しくできる」と笑顔でした。

稲は9月頃、今回の参加者を対象に手刈りの体験を行う予定です。



肥やしをふって良い土に

5月28日、猪苗代町のさくらこども園で、農青連猪苗代支部の盟友が畑作りの先生となって指導を行いました。良い土を作るため、園児たちが肥やしまいて、それを盟友がトラクターで耕しました。



JAの農青連とは、農業協同組合青年連盟のごとです。日本農業の担い手として、農業を通じて様々な環境・文化・教育活動を行っていますよ！農青連と一緒に活動する仲間を随時募集しています。活動したい！という方は組織広報課までご連絡ください♪
TEL:0242-37-2450



小学生、楽しく食を学ぶ！

5月29日、農青連柳津支部は柳津町上田地区の水田で田植えを行いました。この田植えには柳津小学校の4、5年生合わせて38名と盟友、JA職員が協力しました。

児童は、はだして田んぼに入り泥だらけになりながら「コガネモチ」の苗を植えました。

柳津支部委員長の田崎敦さんは「自分たちが食べるお米が、どういう流れでできるか見てもらいたい」と話しました。また児童は「これからの苗の生育が楽しみ」と、嬉しそうに話しました。



絶滅危惧種発見！？生き物調査

農青連新鶴支部は6月22日、新鶴小学校の5年生32名を対象に生き物調査を行いました。児童は盟友と一緒に用水路や田んぼなどの生き物を探し、ザリガニなどを捕獲しました。絶滅危惧種のスナヤツメの捕獲にも成功し、大変盛り上がりしました。支部長の新國雅丈さんは、「この体験を機に、農業や自然について興味をもってくれたら嬉しい」と話しました。





大きく育て！畑の種まき

5月29日、農青連湯川支部は、湯川村の勝常小学校児童の野菜の苗植えを指導しました。毎年、農青連の指導のもと、全校生徒が畑の苗植えと水まきを行います。

植えたのはサツマイモと枝豆。サツマイモは、昨年は秋に道の駅で子どもたちが販売し好評でした。湯川支部の小野智史支部長は「子どもたちと話せる良い機会。高学年の児童は毎年やっていて慣れているから早い」と話しました。



農青連猪苗代支部は6月8日、猪苗代町にあるさくらこども園のほ場で、盟友16名とJA職員が協力して定植指導を行いました。先生と園児ら58名が参加し、ミニトマトなどの野菜を植えました。定植後は「おいしくなれ」と園児が野菜に思いを込めながら水やりをしました。

盟友は、園児たちが帰った後に花を迷路状に定植し、「花が咲いた時喜んでもらえたら嬉しい」と話しました。

家族で楽しむ 田んぼの生き物調査



6月30日、農青連西会津支部の指導のもと、盟友が提供した西会津町の水田で田んぼの生き物調査を行いました。西会津小学校の「西小わくわくクラブ」の一環で、児童やその家族、盟友など約30名が参加しました。

子どもたちは網や素手で生き物をつかまえながら、楽しく調査しました。農青連の盟友が事前に採ったというアカハライモリなどの珍しい生き物も観察しました。



おいしい野菜を、園児と一緒に



農青連会津若松支部は5月22日、菅原若葉幼稚園の園児たちと会津若松市のほ場で、田植え体験を行いました。この体験は今回で2年目。園児たちの応援に、JAの公式キャラクター「コメナルド画伯」も駆けつけました。

5歳児クラスの園児22名と、農青連盟友や保護者など10名が参加し、コシヒカリの苗を植えました。園児は「土が冷たくてきもちいい」「早くお米になるところを見てみたい」と楽しく田植えをしました。

植えた米は園児たちが収穫後、収穫祭でカレーライスや手巻き寿司などにして振る舞われる予定です。



おいしいお米に なりますように！



皆で一緒に田植え体験

5月15日、高田小学校、宮川小学校の5年生70名は、会津美里町にある農業体験学習農場で田植え体験を行いました。会津美里町役場、農青連盟友、JA職員が講師となり、田植え指導を行いました。

初めてはだして田んぼに入った子どもたちは「冷たい」「足が抜けな」と、悪戦苦闘しながらも、楽しく田植えをしました。

農青連高田支部支部長の眞部剛さんは「子どもたちが楽しく田植えができてよかった。今後も農青連として様々な活動を通して地域活性化に貢献していけたらと思う」と話していました。



小学生と一緒に芋植え

農青連西会津支部は1日、西会津町で小学生と一緒に、2000本のサツマイモ苗を植えました。

植えた品種は黄金千貫など4品種。黄金千貫は、盟友らが委託して製造する芋焼酎の原料として使います。参加した児童は「もっとやりたかった」や「泥んこになったけどがんばった」と楽しそうに話しました。



加納小学校で田んぼの生き物調査

6月29日、喜多市熱塩加納町の市立加納小学校の学習田において5、6年生児童19名が参加し、田んぼの生き物調査が行われました。全農、農青連北地区が協力しました。

児童は、真剣に水中を観察しながら生き物を捕まえ、各班から生き物を図鑑で調べ発表しました。

JA自己改革

Vol. 5

田島支店の窓口が 利用しやすくなりました

田島支店は、利用者の満足度を向上させるため、検討会で職員同士意見を出し合い、窓口の環境改善に取り組んでいます。信用・共済の窓口担当者などが中心となり進めています。

まず、入ってすぐの場所にあった起票台を横側に移動し、利用者が入ってきたときの圧迫感を軽減しました。これにより窓口までの導線ができ、混雑も緩和されるようになりました。



移動したカウンター

手元が少し暗かった起票台にはライトを取り付け、書きやすい工夫しています。また、職員がすぐ対応できるように機の配置も変えるなど、日々の業務から気づきを得て、改善しています。

手続きが複雑化する金融業務。その中でも利用者が不快な思いをしないよう、手作りの案内を使って説明するなど、理解を得られるように工夫を凝らしています。

支店一丸となって

取り組んでいます！

ライトを取り付け、手元を明るく



起票時の注意事項を見えるところに掲載

このマークは、
田島支店の工夫
が光る部分です。



室井 良久
支店長



振り込め詐欺の被害
防止を呼びかける注
意書き

Point

職員が自ら問題を見つけ、その問題の解決に向け話し合ったり、工夫をこらしたり…。一律のサービスばかりではなく、その地域に合ったサービスを心がけています。

柳津支店・営農経済センター編

キュウリ選果場に 新しい選別機が入りましたぞ！



よつばのステキを発見！ですぞ♪
メナルド画伯
が行く！

私たちが紹介します！



どんなすごい機械が入ったのかな？ですぞ？



広報通信員

柳津営農
経済センター 柳津支店
目黒 拓 職員 船木 優 職員

柳津営農経済センターの隣に、会津で唯一のキュウリ選果場があります。スーパーで売られるキュウリは、ここで選別・箱詰めされます。

その選果場で6月22日より、新たなキュウリ選別機が稼働しました。大きく変わったのは排出部。従来は選別の際、各等階級のコンベアへキュウリを落下させていました。そのため、落下の衝撃でキュウリが傷つく、品質を左右するイボが取れるなどの問題がありました。しかし、新しい選別機の排出部は、



このモニターで曲がり
や長さを判別します



鈴木 敏史職員

コンテナを下り坂状にする、バケットの表面を接点の少ない構造にするなど、キュウリに配慮した設計となっています。他にも、外部品質センサ部のモニターを増やす、箱やコンテナの衝突を抑制するセンサなど、選果処理能力向上のための、さまざまな工夫が施されています。

選果されたキュウリは首都圏へ出荷されますが、今後はより高品質なキュウリが、店頭に並ぶことでしょう。

ここでキュウリを落下させず、優しく運びます。これは全国初の技術です。

わしの段ボールが山積みですぞ！



スイッチ・オン！



営農、資材、歴史など…農業に関するもっと幅広い知識を様々な角度から紹介する、「よつば農業大学 (カレッジ)」です！

8 限目：「新しくできた平成 31 年度用 水稲用の肥料と農薬」



客員教授

手代木 悠 さん
haruka TESHIROGI

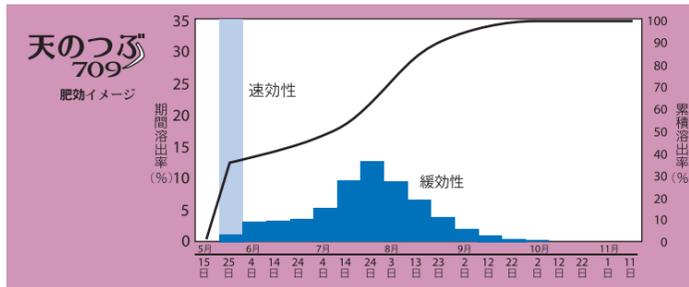


基肥一発肥料 「天のつぶ709」 「里山のつぶ700」

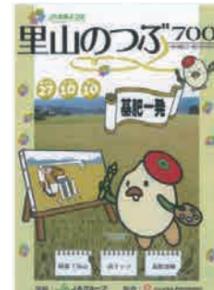
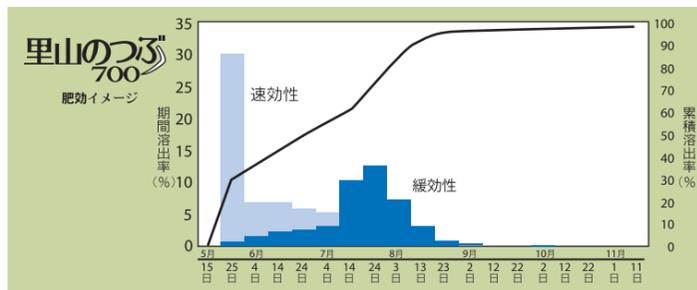


また、作業性および労力軽減を考慮し、15kg袋となっており、側条施肥にも適しています。施肥量は、30kg (2袋、チッソ8.1kg) を基準に栽培条件により適宜加減してください。

福島県オリジナル水稲品種「天のつぶ」および「里山のつぶ」に適した基肥一発肥料です。高チッソでありながら、リン酸、カリについても生育に十分な成分を確保しており、即効性チッソと緩効性チッソを各々バランスよく配合し、初期生育期から出穂、成熟期まで肥効を確保しています。



肥料名	成分 (%)		
	チッソ	リン酸	カリ
天のつぶ709	27	9.2	10
	内速効性		
里山のつぶ700	27	6.5	10
	内速効性		



詳細につきましては、後日配布させていただきます。まず予約注文書をご参照いただくか、最寄の営農経済センターへお問い合わせください。

基肥一発肥料 (土づくり資材入り) 「とれ太郎入り基肥一発605R70」

成分 (%)				
チッソ	リン酸	カリ	苦土	ケイ酸
16	8.0	10	5	3
内速効性				
内緩効性	8.0			

容量 20kg



土づくり資材「とれ太郎」入りの基肥一発肥料で、従来の「とれ太郎入り基肥一発219R90」がチッソ12%、緩効性90日に対して、チッソ16%、緩効性70日となっており、中山間地での施肥はもちろん、平場でのひとめぼれ等での施肥にも適しています。また、「苦土」および「ケイ酸」も含まれており、側条施肥にも適していますので、作業省力化も図れます。

このコーナーは、紹介して下さる方を「教授」「准教授」「客員教授」「講師」などにあてはめて、農業にまつわるあれこれを大学の講義のようなかたちで紹介していきます。

土づくり資材「田んぼマスター」

通常の基肥・一発肥料では補給されにくい多様な微量要素を含む土づくり肥料です。水田で発生する硫化水素は、根の呼吸や栄養吸収を阻害し、ひどい場合は根腐れをおこし、栄養凋落の原因となります。



容量：20kg

成分 (%) ※含有成分 (酸化鉄として)					
リン酸	カリ	苦土	マンガン	ケイ酸	鉄※
4	10	2	1	14	10

施肥量は土壌条件に合わせて、適宜加減して下さい。

この現象が一般的に言う「秋落ち」です。田んぼマスターに含まれている「鉄」および「マンガン」が硫化水素と結合し、無害化することで、秋落ちを改善します。また、ケイ酸も含まれており、光合成能の向上も図れます。

今月は、「平成31年度用肥料・農薬予約注文書」に新たに掲載する水稲用の「土づくり資材」「基肥一発肥料」「初・中期一発処理除草剤」についてご紹介します。



JA 全農福島
会津営農事業所
肥料農薬推進課

手代木 悠職員

初・中期一発処理除草剤「キマリテ」

2成分で「特裁米」や「津工コメ」での使用にもおすすです。また、直播登録もある(フロアブル・ジャンボ剤)一発処理除草剤です。有効成分は、ノビエに高い除草効果を示し、その発生を長期間抑制する「イプフェンカルバゾン」と、ほとんどの一年生雑草および多年生雑草に高い防除効果を示す「テフリトリオン」で、SU抵抗性雑草はもちろん、イボクサ、クサネムなどの特殊雑草にも有効です。



適用雑草と使用方法

作物名	適用雑草名	使用時期	使用量	本剤の使用回数	使用方法	イプフェンカルバゾンを含む農薬の総使用回数	テフリトリオンを含む農薬の総使用回数
1キロ粒剤	移植水稲 水田一年生雑草及びマツバイ、ホタルイヘラオモダカ、ミスガヤツリ、ウリカワ、クログワイオモダカ、ヒルムシロ、セリ、シズイ	移植時	1kg/10a	1回	田植同時散布機で施用	2回以内	2回以内
		移植直後～ノビエ3葉期 但し、移植後30日まで			湛水散布または無人ヘリコプターによる散布		
フロアブル	移植水稲 水田一年生雑草及びマツバイ、ホタルイヘラオモダカ、ミスガヤツリ、ウリカワ、クログワイ、シズイ、オモダカ、ヒルムシロ、セリ、アオミドロ・藻類による表層はく離	移植時	500ml/10a	1回	田植同時散布機で施用	2回以内	2回以内
		移植直後～ノビエ3葉期 但し、移植後30日まで			原液湛水散布、水口施用または無人ヘリコプターによる滴下		
ジャンボ	直播水稲 水田一年生雑草及びマツバイ、ホタルイヘラオモダカ、ミスガヤツリ、ウリカワ、クログワイオモダカ、ヒルムシロ、セリ	移植直後～ノビエ3葉期 但し、移植後30日まで	小包装(パック)10個(300g)/10a	1回	水田に小包装(パック)のまま投げ入れる	2回以内	2回以内
		稲1葉期～ノビエ3葉期 但し、収穫90日前まで					

コンプライアンス対策

共済事業



- 共済契約のお申込みをお受けする際は、J A職員が共済種類に応じた「重要事項説明書」を用いて（一部の事項を口頭）説明し、共済ご契約者様に配布いたします。
- 共済契約申込書の共済契約者、被共済者、法定代理人が記入すべき欄は、ご本人様の自署・押印をお願いしています。（お申込み方法により押印不要の場合があります）
- 共済証書等必要書類をお預かりする際は、「共済証書等お預り書」を交付します。また、証書等をお返しする際はお預り書を回収いたします。（解約等を除く）
- 共済金等のお支払いは、受取人ご本人様の口座へ入金いたします。なお、口座をお持ちでない場合は開設をお勧めしております。
- 住所等の変更がございましたら、お近くの支店でお手続きをお願いいたします。

【共済部 TEL 0242-83-3983】

販売事業



- 組合員の皆様から生産物を出荷いただく際には、同時に荷受票をご提出いただいております。
- 販売代金の精算については、「販売代金精算明細書（振込通知書）」を送付し、口座入金としています。

【園芸直販部 TEL 0242-83-3981】

購買事業



- 現金でお買い上げの際は、領収書をお渡しします。
- 購買代金を集金等で受領する際は、J A所定の領収書をお渡しします。または、受取書を発行いたします。
- 購買未収金取引をご利用されるお客様には、原則として購買未収金取引約定書を締結いただいております。

【経済部 TEL 0242-83-2743】

外部確認



- 常日頃、お客様にご利用いただいております貯金、融資、購買未収金等の残高が正しいものであることを証明するために、文書にてご確認をお願いいただくことがありますので、ご理解とご協力をお願い申し上げます。

【その他の苦情、ご意見の連絡先】
コンプライアンス対策部 コンプライアンス対策課
TEL 0242-37-2231

暑い時期になると起こる倦怠感や食欲不振などの体の不調を夏バテといいます。

夏バテの原因

- ①室内外の温度差による自律神経の乱れ
室内外の温度差が大きいと体力を消耗しやすくなります。冷房が効きすぎた部屋にいたり自律神経が働きにくくなり、倦怠感や食欲不振を感じやすくなります。
- ②高温多湿の環境
汗を大量にかき脱水や水分過多による体内のミネラルバランスの悪化や汗の蒸発が抑制され体温調節がしにくくなります。
- ③睡眠不足
暑さにより寝つきが悪かったり、睡眠が浅くなるため疲労が回復されず、疲れが溜まってしまいます。
- ④冷たいものの摂りすぎ
冷たいものを摂りすぎると胃腸の働きが低下し、食欲不振を感じやすくなります。



夏バテの予防方法

- ①栄養価の高い食品を摂る
疲労回復 ビタミンB1を含む豚肉、うなぎ、玄米。
アリシンを含むニンニク、ねぎ。
免疫力を高める β-カロテンを含むにんじんやほうれん草。
ビタミンCを含むゴーヤ、ピーマン、パセリなど。
食欲増進 ネバネバ成分を含むオクラや長芋。
クエン酸を含むレモンや梅など。
- ②水分をこまめにとる
- ③室内外の温度差を小さく
冷房の温度は外気との差が5度くらいになるように調節しましょう。
- ④睡眠による疲労の回復
ぐっすり寝て、その日の疲れはその日のうちに取り除きましょう。就寝の一時間前にぬるめのお湯につかると深い眠りに入りやすくなります。



夏バテ予防レシピ ～豚肉と夏野菜のさっぱり炒め～ 1人分(249kcal,塩分1.8g)

材 料	量	作 り 方
・豚こま切れ肉	60g	1. 豚肉は塩胡椒で下味をつけたら、野菜を食べやすい大きさに切り、梅干しは種を取って漬しておきます。 2. フライパンにサラダ油を入れ、肉→野菜の順に炒めます。 3. 火が通ってきたら梅干し、醤油を入れて更に炒めます。
・たまねぎ	1/4個	
・なす	1/2個	
・ピーマン	1個	
・サラダ油	大さじ1/2	
・梅干し	1個	
・醤油	小さじ1/2	
・塩胡椒	少々	



みんなの広場

コメナルド画伯が紹介

コメナルド画伯公式 Twitter @Komenardo
JA会津よつば 公式 Facebook



今月の お手紙

○生産者様に関する特集は経営に対する思いもしっかり伝わってきて、安心・安全でおいしい野菜をいつまでも栽培していただきたいと思えます。

(北塩原村 鈴木さん)

○脱サラされての若き後継者、楽しみです。りっぱに成長されますように。

(会津美里町 白井さん)

○今号はキュウリの特集とでもたためになりました。これからもこの様な特集をお願いしたいです。

(南会津町 村井さん)



文芸 のひろば

大空に 緑一色 黒山は
田植えも終り 春蟬ぞ鳴く
昭和村 栗城 ツキ子

化粧しない 疲れて眠る 妻の顔
五十年の苦勞 すまなく思う
柳津町 菊地 義隆

いそぎゆく 初夏の宴の ひめさゆり
風さやさやと 四季のうつらめ
磐梯町 臼井 勝敏

風わたり すくすく伸びる 水稲よ
実り多くと 願いをかける
喜多方市 菊地 よしみ

木々の間に 咲ける紫陽花 降る雨に
ぬれゆく花の 藍のすかしも
会津坂下町 鈴木 トキ子

突然の 客におくれ毛 手櫛で撫で
湯川村 小林 輝子

そよ風に ゆられて踊る ひめさゆり
喜多方市 遠藤 幸一

青田風 九九を唱える 児が二人
喜多方市 岩下 スミ子

行ってきます 一人住まいの 鍵をかけ
喜多方市 高橋 禮香

会津のキュウリは最盛期を迎えています。まず、家で美味しく食べたいですね！

○とっておきレシピ参考になります。毎年作っているキュウリのしょうゆ漬とちがつて、今年は6月号を参考に作ってみたいと思えます。

(会津若松市 小林さん)

レシビのおたよりはとっても多かったです。これからはもう少しおいしい食べ方を案内していきます。

○献上米や酒米の田植えお疲れ様です。やはり日本人はお米を食べないと。米は買って食べていますが、やはり会津の米はおいしいです。

(三島町 杉本さん)

ありがたです。生産者の思いを伝えられたらうれしいです。米の消費にもどんどん貢献していきたいです。

○「アスパラベーコンおにぎり」食べました。昨年も食べましたが、今年は具材の量も増し、とてもおいしかったです。会津産アスパラ大好きです。

(喜多方市 飯野さん)

真っ直ぐに 背を伸ばしたき 八十路きて
喜多方市 輪川 俊子

パチンコへ のめり込めよと 広告紙
喜多方市 樋口 和男

何処より 郭公の声 大豆を播く
会津坂下町 五十嵐 幸子

茄子の花 農婦好みの イヤリング
会津坂下町 高畑 みさえ

青じそを 刻みて匂う くりやかな
喜多方市 入岡 睦子

青田買い いくらすると 孫がきく
会津坂下町 相模莫迦

太陽へ 初茄子かけ いただきぬ
会津若松市 白川 玲子

青青と 早苗も今が 成育中
会津若松市 小林 フキ子

竹を切る 流しそうめん 盆支度
湯川村 鈴木 静代

清し色 サヤインゲンの 味清し
金山町 菅家 紀子

初夏の空 鶯の親子の 声しきり
昭和村 東原 孝子

明かり籠め 睡蓮として 夕かな
柳津町 斎藤 泰花

毎年ありがたです。これからは加工品やコラボ商品をどんどん紹介していきます。

○コメナルド画伯が行く！楽しく読んでいます。今回ひめさゆりは熱塩も南郷もきれいですね。

(会津若松市 大竹さん)

○南郷のひめさゆり、楽しく癒されながら拝読しました。来年は、是非行ってみたいと思えます。

(会津坂下町 鈴木さん)

ひめさゆり、本当にきれいな写真です。来年はぜひ、現地にも行ってみたいですね。実は、熱塩加納と南郷で少し花の色にも違いがあるみたいですね。

○ポケ防止を兼ねてクイズに毎回挑戦しています。葉書を書くことにより文字の練習にもなり一石二鳥なり。

(会津若松市 安西さん)

○ポケ防止にチャレンジしてみました。がむずかしい。パズルを作る人はもっと大変かと思えました。

(南会津町 菅家さん)

○いつも楽しく読ませていただいています。クロスワード初投稿！よろしくお願ひします！

(金山町 山内さん)



今月の 絵手紙



(会津坂下町 稲垣 君代)



(西会津町 斎藤 ノイ)



(南会津町 馬場 忠子)

みんなの広場 お便り大募集

5月号応募総数 135通 八ガキ 111通 メール 24通、
俳句のみ 11通、うち正解者 124通

このコーナーではみなさんの声をお待ちしています。写真やイラスト、川柳や短歌、おもしろ野菜、手芸などなんでも募集します。

【宛先・お問い合わせ】
総合企画部 組織広報課 TEL0242-37-2450
メール: info@aizuyotuba.jp
〒965-0025 会津若松市扇町 35-1
JA 会津よつば みんなの広場係



注意事項
○誌面の都合上、投稿いただいた作品のすべてを掲載できません。
○掲載にあたりペンネーム希望の方はご記載ください。
○投稿いただいた作品は返却いたしません。また、お送りいただいた作品(絵手紙・写真など)の著作権はJAに属します。
○ご投稿いただいた内容は、意味などを変更しない範囲で校正させていただきます。あらかじめご了承ください。

締切 平成30年7月27日(必着)
※各地区の広報誌配布時期により、掲載月が前後する場合がございます。あらかじめご了承ください。

「よつば」6月号
クロスワードパズル答え
サインゲン

サ	カ	ラ	オ	ケ	ハ	ン
ズ	キ	ノ	コ	シ	マ	シ
ミ	セ	ン	ド	ワ	カ	ク
ガ	コ	シ	カ	ワ	カ	ク
カ	ミ	ナ	リ	ヤ	ク	

当選者はプレゼントの発送をもって発表にかえさせていただきます



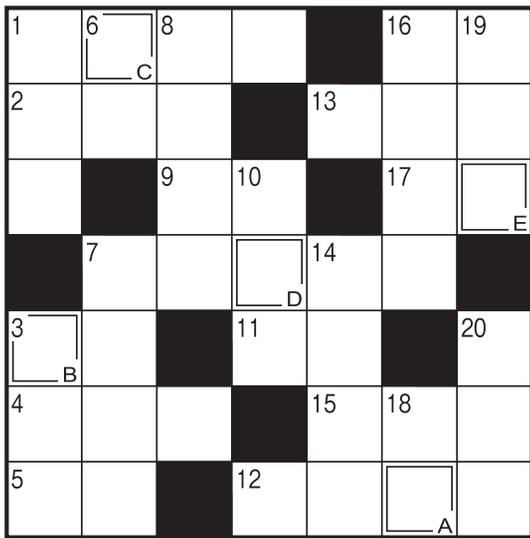
みんな集まって
寄ってかんしょ！
田代 清子
(喜多方市)



○毎回楽しく読ませてもらっています。特にチャレンジクロスワードパズルなど、前にくらべて時間がかかりますが楽しく考えられます。これからもよろしくお願ひします。

(喜多方市 江花さん)

Q 二重マスの文字をAから順に並べてできる言葉はなんでしょう。



タテのカギ
1 水着の痕がついたり皮がめくれたり
3 学校の教室に並べます
6 酒などを量る四角い容器
7 ミノ、ハツ、センマイといえ
8 全生徒中の男子生徒の――を計算で求めた
10 前福島県知事である佐藤雄平さんの――は下郷町
14 プールで習うことの一つ
16 ビーチ――を広げて日陰をつくった
18 会津坂下町と会津美里町では、新たな年での開運と五穀豊穡を願い、大俵を繋いだ――引きが行われます
19 バットを持って1人でもできる練習
20 釣りに使う透明な糸

ヨコのカギ
1 喜多方市三ノ倉高原の――畑では、東北最大規模を誇る――が咲き誇ります
2 爪を削って整えるときに使います
3 アサガオやヘチマが伸ばす物
4 天気予報では雲のマークで表されることが多い天候
5 猪苗代町にある磐椅神社では――結び桜という樹齢800年以上の桜があります
7 サッカーの主審が吹きます舌で感じます
9 ウミウシも実はこの仲間
11 ブラスの反対
12 U A Eとも呼ばれる――首長国連邦
13 卵を英語でいうと
14 定期券を入れた――ケース
15 あの2人はどうも――が合わないようだなあ

○宛 先：〒965-0025 会津若松市扇町35-1
J A会津よつば クイズ係 行
メール：info@aizuyotuba.jp

○応募方法：ハガキまたはメールにて①答え②郵便番号、住所、氏名、年齢、電話番号③ご意見、ご感想をご記入のうえご応募ください。
※個人情報保護法に基づき、景品発送準備以外の目的には使用しません。

締切 平成30年8月6日(月)消印有効
※当選者の発表は賞品の発送をもって代えさせていただきます。

☆今月のプレゼント☆ パズルの正解者の中から抽選で20名様に
花の栽培キットをプレゼント!

理事会だより 第6回理事会 6月27日開催

組合員の皆様へ
平成29年度 政府備蓄米の精算金明細
平成29年度産備蓄米の精算金を下記の通り振込いたしました。

1. 振込日 平成30年6月25日(月)
2. 精算額

単位：円(税込)/60kg

等級	概算金	精算金	最終手取り額
1等	10,600	642	11,242
2等	9,952	642	10,594
3等	8,872	642	9,514

(注1) 精算金、最終手取り額は1円未満を切り捨てて表示しています。
※ J A会津よつばでは、今後も経費の圧縮に努め1円でも多く精算金をお支払できるように販売いたします。

経済部よりお得なお知らせ
カメムシ防除農薬購入代金の一部助成について

近年増加しているカメムシ類による斑点米被害を未然に防止し、高品質米の生産と農業所得向上に対する支援の一環として、防除に係る薬剤購入に対して代金の一部を助成します。

◇助成基準
粉 剤 農薬購入代金の30%助成
粒・液剤 農薬購入代金の10%助成
水 和 剤 農薬購入代金の10%助成
※薬剤の使用時は、周辺作物(特にトマト・きゅうり等の園芸品)へのドリフト被害に十分注意して下さい。

◇助成方法
生産者貯金口座へ振込
※本年度より、通帳印字を「カメムシ助成」とします。

◇助成時期
平成30年10月19日(金)頃を予定

報告事項 1 議案第1号
報告事項 2 議案第2号
報告事項 3 議案第3号
報告事項 4 議案第4号
報告事項 5 議案第5号
報告事項 6 議案第6号
報告事項 7 議案第7号
報告事項 8 議案第8号
報告事項 9 議案第9号
報告事項 10 議案第10号

報告事項 11 J A財務モニタリング実施結果について
報告事項 12 平成30年度月別事業計画(総合財務計画・総合収支計画)の設定について
報告事項 13 平成29年度場所別損益について
報告事項 14 J A会津よつば合併事業計画の成果と課題について
報告事項 15 組合員の異動について
報告事項 16 伊南支店新築工事について
報告事項 17 夏季手当の支給について
報告事項 18 不祥事対応・未然防止マニュアルの一部改正について
報告事項 19 実践状況について
報告事項 20 平成30年度第1四半期における利用者保護等の管理運営について
報告事項 21 平成30年度第1四半期における反社会的勢力等の管理運営状況について
報告事項 22 平成30年度第1四半期における利益相反取引の検証結果について
報告事項 23 平成30年度第1四半期における金融円滑化の対応状況について
報告事項 24 平成30年度第1四半期におけるコンプライアンスに関する問題(相談)事項の報告について
報告事項 25 平成30年度第1四半期における事務リスク管理規程に基づく報告事項 17
報告事項 18 報告事項 19 報告事項 20 報告事項 21 報告事項 22 報告事項 23 報告事項 24 報告事項 25

報告事項 26 内部監査の結果について
報告事項 27 品質管理の推進について
報告事項 28 共同利用の推進について
報告事項 29 共同利用の推進について
報告事項 30 共同利用の推進について
報告事項 31 共同利用の推進について
報告事項 32 共同利用の推進について
報告事項 33 共同利用の推進について
報告事項 34 共同利用の推進について
報告事項 35 共同利用の推進について
報告事項 36 共同利用の推進について
報告事項 37 共同利用の推進について
報告事項 38 共同利用の推進について
報告事項 39 共同利用の推進について
報告事項 40 共同利用の推進について

編集後記

▼直売所には色とりどりの野菜が並び、イベントも目白押し。そんな夏がやってきましたね。今年もアクティブにどどん外に出る夏にしよう!と決めています。(佐藤)

▼今回の特集は花です。取材の時や写真の編集をしているときも、撮った写真を見ても自然と笑顔になっていました。なんだか魔法みたいでした。ですよね。(平野)

▼夏と言えば何を思い浮かびますか? 私は夏祭りや花火です。祭りの活気がある雰囲気大好きで、今年は地元の南会津町以外の祭りも行きたいですね。(湯田)

▼6月半ば頃から暑い日が続いており、組織広報課一同、汗だくで取材しております。皆様も農作業などで外出する際は、熱中症に十分気を付けてください。(渡部)